

事務事業実績測定調査

事務事業名称		緩衝緑地帯整備事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	施設管理室				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4							
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち												
	施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち												
	実行計画名														
1. 事務事業の概要															
種類	市民サービス				特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	2019(R1)年度				年度	～				年度まで					
根拠法令等	決裁														
関係補助金名称											サンセット				
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット		緩衝緑地帯の近隣に在住する市民・事業者												
	サブターゲット														
	ターゲットが抱える課題		緩衝緑地帯の一部が公園として有効活用できるように整備する必要がある。												
	ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	緩衝緑地帯の一部が公園として整備されて、近隣に在住する市民・事業者が、利用できている状態。														
事業概要	<p>公共施設マネジメント推進委員会において、売却することが決定された緩衝緑地帯については、平成24年7月30日に大阪府住宅供給公社と交換した用地部分(744.37㎡)を緑地とする契約を締結している。これを受け、緩衝緑地帯の伊加賀西町南公園に隣接する区域のうち、府公社と交換した用地面積に相当する面積を公園の拡張用地として環境部が整備し、土木部の所管とした上で公園としての活用を図る。</p> <p>○用地の概要 緩衝緑地帯 約4,805㎡(公園拡張用地 約744.37㎡含む)</p>														
2. ロジックモデル及び指標設定															
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
	公園として利用できている。				緩衝緑地帯の整備が完了する。				緩衝緑地帯を整備する。						
指標設定	指標説明		土木部が公園として管理運営できている。 【移管面積/整備面積×100】				用地整備に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				整備の進捗状況。				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標(見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		100	-	-	-	100以内	-	-	-	100	-	-	-
	達成度		100%				108%				100%				
	分析		想定通りであった。				予算内にて適切に執行できた。(再配当)				想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	—	4,074	1,595		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人員費計	—	4,074	1,595		
	物件費計	—	0	20,307	22,000	92%
	歳出計	—	4,074	21,902		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	15,200	16,500	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	15,200	16,500	
	一般財源	—	4,074	5,107	5,500	

5. 総括的分析

総括的分析	緩衝緑地帯公園拡張工事について、当初予算額 22,000千円、決算額 20,308千円であった。令和2年度中に整備面積の全てを土木部に移管した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	終了
----	----

今後の取組方針	事業の実施完了。
---------	----------

事務事業実績測定調査

事務事業名称	第3プラント施設運営業務													
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	施設管理室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性		内部事務				区分		一般内部管理事務				
事業期間	1988(S63)年度				年度	～		年度まで							
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、騒音規制法、下水道法・枚方市下水道条例、枚方市公害防止条例、水質汚濁防止法、大阪府生活環境の保全等に関する条例、ダイオキシン類対策特別処理法等														
関係補助金名称												サンセット			
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット		家庭から生活ごみ等を排出する市民												
	サブターゲット														
	ターゲットが抱える課題		ごみの適正処理及び安定性を確保できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。												
	ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	適正な分別・収集からなる適正処理を実現し、計画的かつ安定的な施設の保全及び維持管理が行われている。														
事業概要	<p>処理施設の概要 名称:穂谷川清掃工場 所在地:枚方市田口5丁目1番1号 第3プラント(焼却処理能力:200t/日、昭和63年3月竣工)、排水処理施設(処理能力:402t/日、昭和56年3月竣工)、動物焼却炉(焼却処理能力:50kg/時、昭和57年3月竣工)</p> <p>第3プラント内のデータ処理設備、電気設備、非常用発電設備等各種機器の保守点検を行う。第3プラント、動物焼却炉、排水処理設備、井戸設備の定期補修工事を行う。 第3プラント、排水処理設備等(保守点検委託を行っている機器以外)の点検・修理を行う。 公害関係の分析調査及びごみ質分析を行う。</p>														

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
					第3プラントが適正に維持管理、運営されている。				第3プラントの施設保全や保守点検等を行う。			
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	指標説明				修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				点検日/稼働日			
	単位				単位				単位			
	指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)				100以内 100以内 100以内 100以内				100 100 100 100			
	実績				97.46				100			
達成度				97%				100%				
分析				当初の予算内で修繕・補修工事ができている。				予定どおり定期補修工事が出来た。				
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
					市内域の一般ごみを適正に処理できている。				第3プラントにより、市内域の一般ごみを焼却する。			
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	指標説明				受け入れ焼却ごみを適正に処理できた割合 【算出式:処理量/搬入量×100】				焼却処理量【算出式:(目標)「枚方市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(平成28年度～平成37年度)」での計画量×0.4】			
	単位				単位				単位			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)				100 100 100 100				37,417 37,041 36,665 36,290			
	実績				100				34,917.48			
達成度				100%				100%				
分析				受け入れた焼却ごみは、すべて適正に処理できている。				概ね基本計画のとおり処理出来ている。				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③						動物の遺骸が適正に処理できている。				動物焼却炉により、動物の遺骸を焼却する。			
指標設定③	指標説明					受け入れに対して適正に処理できた割合【算出式:処理量/搬入量×100】				動物専用焼却炉を適正に管理して、処理する。			
	指標種類	単位				単位 %				単位 %			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標(見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					100	100	100	100	100	100	100	100
	達成度					100%				100%			
分析					受け入れた動物の遺骸は、すべて適正に処理できている。				計画のとおり定期補修工事の実施及び処理が出来た。				
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						不燃残渣が適切に処理されている。				焼却灰・飛灰及び資源化した後に発生する不燃残渣を処理する。			
指標設定④	指標説明					不燃残渣の適正処理率【算出式:処分量(最終埋立)/処理量×100】				処理設備を適正に管理して、不燃残渣を処理する。			
	指標種類	単位				単位 %				単位 %			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	目標(見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					100	100	100	100	100	100	100	100
	達成度					100%				100%			
分析					不燃残渣の発生がなく、処理実績がない。				不燃残渣の発生はないが設備の維持管理においては適正に行えている。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	11.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	144,367	117,110	82,159		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	2,238	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	144,367	119,348	82,159		
	物件費計	809,618	666,330	743,107	747,025	99%
	歳出計	953,985	785,678	825,266		
歳入	国庫支出金	11,891	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	3,500	4,500	
	その他	47,252	48,165	29,556	33,204	
		歳入計	59,143	48,165	33,056	37,704
	一般財源	894,842	737,513	710,051	709,321	

5. 総括的分析

総括的分析 指標の達成度については概ね想定どおりであったが、東部清掃工場でのごみ焼却量増加により、例年に比べ穂谷川清掃工場でのごみ焼却量が減少したため、東部清掃工場と穂谷川清掃工場のごみ処理計画を調整し計画的な炉の停止しを行い発電量(売電量)の増加を見込める効率的かつ効果的な運転管理に務めた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	ごみ処理に関する公害関係法令、廃棄物関係法令に定める基準を遵守し、第3プラントで一般ごみを適正に焼却処理し、発生する残渣物を適正に処理をする。令和7年度まで安定稼働に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		穂谷川清掃工場施設管理業務												
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	施設管理室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性		内部事務			区分		一般内部管理事務			
事業期間	2013(H25)年度				年度	~		年度まで						
根拠法令等	枚方市庁舎管理規則													
関係補助金名称								サンセット						
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		申請手続き及び持込ごみ等で施設を利用する市民。											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		穂谷川清掃工場を利用する市民が、安全に利用できるよう施設保全や保守点検を実施する必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	穂谷川清掃工場を利用する市民が、施設を安心して安全に利用できている状態。													
事業概要	<p>施設の概要 名称:穂谷川清掃工場(焼却施設を除く) 所在地:枚方市田口5丁目1番1号 敷地面積:38,941㎡ 主な施設:管理棟(執務室及び作業員控室、昭和49年3月竣工、鉄筋コンクリート造3階建、建物面積2,382㎡)、公用車車庫(昭和49年12月竣工、鉄骨造耐火構造平屋建、建物面積1,208㎡)、旧管理棟(昭和40年3月竣工、鉄骨造2階建、敷地面積232㎡、平成25年3月に改築し、同年4月から、リサイクル施設「ひらかた夢工房」として使用)等。</p> <p>穂谷川清掃工場敷地全体の環境美化及び、管理棟の日常点検(警備・清掃・緑地帯管理等)、法定点検(火災報知器点検・受水槽高架水槽点検・空気環境測定)、敷地内の建物の点検や部分補修などを計画的に行う。 市民持込みごみ受入業務を行う。 小学校の環境教育および企業等の環境研修として、施設見学の受け入れを行う。</p>													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					穂谷川清掃工場が適正に維持管理されている。				穂谷川清掃工場の施設保全や保守点検等を行う。					
指標設定	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				補修工事、保守点検業務等(委託含む)の執行率							
			単位		単位		%		単位		%			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)						100以内	100以内	100以内	100以内	100	100	100	100
	実績						87.10				100			
達成度						87%				100%				
分析						当初の予算内で修繕・補修工事を実施した。				当初の予算内で修繕・補修工事が施工され、法定点検に必要な項目の保守点検委託が出来た。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	11.68
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.06
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の件数については、人員配置をもとに平均件数を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「件数 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員件数」「臨時職員件数」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は物件費に充当されるものも含まれています。

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	71,067	87,673	85,109		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,116	224	123		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	72,183	87,897	85,232		
	物件費計	60,810	64,203	79,467	83,574	95%
	歳出計	132,993	152,100	164,699		
歳入	国庫支出金	2,287	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	2,287	0	0	0	
	一般財源	130,706	152,100	79,467	83,574	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定通りであったが、昭和49年に開設した管理棟においては、今後、修繕料・補修工事費が増加する傾向である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	管理棟を含めた老朽化している穂谷川清掃工場敷地内の施設維持管理や環境美化を適切かつ効率的に行うため、穂谷川清掃工場職員の技術力を活かしていく。関係法令を遵守し、施設の保全や保守点検を適正に行う。 委託業務による適正処理・管理を行う。 現在の事業内容にあったものに来年度見直す。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	(仮称)自然環境保全活用事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	施設管理室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事業		区分	一般事務事業					
事業期間	2009(H21)年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称	サンセット											~
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	自然と触れ合う場に参加する市民及び事業者										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	竹林化が進み、自然災害などによる雑木の倒木があり、容易に近づけない。										
	ターゲットが抱える課題	市民が安心、安全に利用することができない。(利用に当たり水道やトイレがないため)										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	(仮称)自然環境保全活用事業用地において、環境保全活動が実施されている状態。											
事業概要	(仮称)自然環境保全活用に係る具体的計画を検討し立案する。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	(仮称)自然環境保全活用事業用地において、環境保全活動が実施されている。	各具体的計画に基づき、(仮称)自然環境保全活用にて環境保全活動を実施。				(仮称)自然環境保全活用に係る具体的計画を策定、推進する。							
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明	関係団体による活動の実施率。(試験的活動も含む。)				関係団体による活動の実施回数。(試験的活動も含む。)				大阪府など関係団体等との意見交換会や活用検討会議を実施。			
		単位		%	単位		回	単位		回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	100	100	100	100	1	1	2	2	1	2	3	3
実績	100				1				1				
達成度	100%				100%				100%				
分析	踏査及び定期的な維持管理を実施				踏査及び定期的な維持管理を実施				公共施設マネジメント推進委員会にて方針を検討した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,385	2,004	1,994		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	2,385	2,004	1,994		
	物件費計	65	825	550	902	61%
	歳出計	2,450	2,829	2,544		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	2,450	2,829	550	902	

5. 総括的分析

総括的分析 平成10年9月第2最終処分場建設計画の中止により、平成20年6月新たな活用として(仮称)自然環境保全活用事業を発足。当該用地を公社から買い戻しながら、維持管理及び事業化検討を行い、令和元年度をもって買い戻しは完了した。事業検討の総括及びコロナ禍の状況を鑑み、事業は廃止とし、令和2年10月に開催された公共施設マネジメント推進委員会にて、売却処分方針が決定された。今後は、財産管理担当課に協力して、処分を進める。令和2年度は、これらの構想に向けた調査、研究の段階のため、職員による除草、踏査などの定期的な維持管理を行った。また、境界確認のため、一部委託による除草を行った。

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取組方針	令和2年10月27日の公共施設マネジメント推進委員会にて、売却処分方針が決定されたので今後、財産管理担当課と協力して処分を進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													一般廃棄物最終処分場管理業務												
測定年度				2020(R2)年度				部			環境部			課		施設管理室									
市長公約との関係				所信表明				市政運営方針			R2		R3		R4										
総合計画体系				基本目標				5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち																	
				施策目標				25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち																	
				実行計画名																					
1. 事務事業の概要																									
種類				内部管理				特性			内部事務			区分		一般内部管理事務									
事業期間				2014(H26)年度				年度			~				年度まで										
根拠法令等				廃棄物の処理及び清掃に関する法律																					
関係補助金名称				サンセット																					
関係附属機関名称																									
事業対象				メインターゲット				一般廃棄物最終処分場への埋立事業は終了しているが、法律で定める廃止基準を満たすまで、浸出水の処理、ガス測定等を行う必要があるため、その業務に従事する職員																	
				サブターゲット				最終処分地の土地を利用する市民																	
				ターゲットが抱える課題				現状で法律の廃止基準を満たす状態になるには長期間(数十年)必要であり、その間の管理及び土地の利用に制限がかかる。																	
				ターゲットが抱える課題																					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)				法律に定める処分場の廃止基準を満たし、最終処分場としての管理の終了及び土地の活用の幅が広がる。																					
事業概要				枚方市一般廃棄物最終処分場は平成14年4月に埋立が終了しているが、法律で定める廃止基準の適合を確認できるまで、必要とされる分析測定を実施。埋立地周辺地域への影響を定期的に維持管理をしながら、平成26年10月から多目的広場として暫定利用を開始した。																					
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)													
								枚方市一般廃棄物最終処分場の適切な維持管理が出来る。				枚方市一般廃棄物最終処分場の維持管理に係る委託及び自主管理を実施する。													
指標設定				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)													
				指標説明				事故等発生数				進出水搬送及び維持管理に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】													
				指標種類				単位		単位		件		単位		%									
				指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5					
				目標(見込み)										0		0		100以内		100以内					
				実績										0				94							
				達成度																					
分析								毎月の点検及び水質検査・ガス調査に異常はなかった。				適切な維持管理に係る事務を実施している。													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.59
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	5,645	3,870	4,705		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人員費計	5,645	3,870	4,705		
	物件費計	8,560	9,465	10,032	10,627	94%
	歳出計	14,205	13,335	14,737		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	14,205	13,335	10,032	10,627	

5. 総括的分析

総括的分析 必要な業務委託の発注、職員による巡回及び施設維持管理作業を実施し、異常はありませんでした。多目的広場の貸し出しとしては、令和2年度は新型コロナウイルス感染対策のため4～5月、12～2月は利用を中止した。登録団体による利用実績は3団体 延べ44日 1,053人。(前年は、3団体 延べ66日 1,809人。)

6. 今後の方向性

区分	現状維持
----	------

今後の取組方針 最終処分場による周辺地域への影響を与えない様に適正な管理を行うとともに、管理経費をできるだけ低減させる。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	東部清掃工場建設工事関連事業											
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	施設管理室	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事業		区分	一般事務事業				
事業期間	2008(H20)年度			年度	~	年度まで					
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称											サンセット
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	東部清掃工場の都市計画決定区域内の地権者									
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題	都市計画決定区域において、用地買収を円滑に進めることが出来ない。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	都市計画区域の全てを買収できている状態。										
事業概要	1. 未買収用地の境界確定業務を行う。 2. 都市計画決定区域である東部清掃工場未買収用地の取得を行う。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	都市計画区域の全ての用地が買収できている。	未買収用地の取得により、都市計画決定区域における取得済用地の面積が増える。				境界面決定業務等により、都市計画決定区域である東部清掃工場未買収用地の取得を実施する。							
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	用地取得率 【算出式: 取得済面積/取得予定面積×100】	用地取得済み面積				単年度取得予定面積							
	単位	%			単位	㎡			単位	㎡			
	指標種類												
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	(見込み)	81	90	96	100	23,732	26,254	28,127	29,250	3,300	2,522	1,873	1,123
実績	81				20,432				0				
達成度													
分析	未買収用地(交渉困難地)について関係各部署との協議・調整を行っている。				未買収用地(交渉困難地)について関係各部署との協議・調整を行っている。				未買収用地(交渉困難地)について関係各部署との協議・調整を行っている。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	9,144	9,220	9,171		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人員費計	9,144	9,220	9,171		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	9,144	9,220	9,171		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	9,144	9,220	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析 東部清掃工場は、都市計画事業として平成15年に事業認可を受け、都市計画面積約8haのうち、約5haを取得後、焼却施設は平成20年度に、粗大ごみ破砕処理施設は平成24年度に完成し、現在に至っている。未買収用地3haについては、緩衝緑地として引き続き取得し、緑被率6割(環境影響評価)以上を確保する。なお、令和2年2月に事業認可の延伸を行い、令和5年度末までとなった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	残りの用地についても、用地課と連携を図りながら事業認可期間中の買収に向けて引き続き地権者の理解と協力を得られるよう努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														東部清掃工場見学等環境啓発事業																																									
測定年度				2020(R2)年度				部		環境部				課		施設管理室																																							
市長公約との関係				所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4																																									
総合計画体系				基本目標				5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち																																															
				施策目標				25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち																																															
				実行計画名																																																			
1. 事務事業の概要																																																							
種類				市民サービス				特性		選択的事業				区分		一般事務事業																																							
事業期間				2008(H20)年度				年度		~						年度まで																																							
根拠法令等				廃棄物の処理及び清掃に関する法律																																																			
関係補助金名称								サンセット																																															
関係附属機関名称																																																							
事業対象				メインターゲット				東部清掃工場の訪問予約をする市民、およびその予約に関連する市民(市内・市外問わず)																																															
				サブターゲット				環境フェスタ氷室ふれあいの里の駅で東部清掃工場を訪れる市民 見学対応する職員																																															
				ターゲットが抱える課題				工場見学等の対応が困難になった場合、市民が減量及び環境保全の活動に関心を持つ機会がない。																																															
				ターゲットが抱える課題																																																			
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)				啓発活動を通じて、市民に4Rの取組等を理解していただくとともに、減量及び環境保全の活動に関心を持って頂けている状態。																																																			
事業概要				ごみの適正な分別や資源の有効活用に関する啓発活動の一環として、随時、東部清掃工場内を事前予約制により、約2時間の施設見学コースにより、見学を行っている。小学校では、4年生の社会科でゴミ処理等について学んでおり、市内小学校や他市からも小学生を受け入れて見学を行っている。 また、秋季には、「環境フェスタ 氷室ふれあい里の駅」のイベントを実施し、より多くの市民にごみ処理について、理解を深めていく場とする。																																																			
2. ロジックモデル及び指標設定																																																							
ロジックモデル				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																																											
				啓発活動を通じて、市民に4Rの取組等を理解していただくとともに、減量及び環境保全の活動に関心を持って頂けている。				市民が、減量及び環境保全に関して触れる機会が増える。				東部清掃工場見学等、減量及び環境保全に関連する啓発活動を実施する。																																											
指標設定				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																																											
				指標説明				イベントアンケートで減量及び環境保全の活動に関心を持ったと答えた割合(実施した場合の目標値) 【算出式:減量及び環境保全の活動に関心を持ったと答えた人数/アンケート回収者数×100】				東部清掃工場見学等イベント参加人数				東部清掃工場見学等イベントの開催回数																																							
				指標種類				単位				%				単位				人				単位				回																											
				指標数値				R2				R3				R4				R5				R2				R3				R4				R5																			
				目標(見込み)				70				70				70				70				300				300				300				300				1				1				1				1			
				実績				0																0																															
				達成度																																																			
				分析				令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは中止した。なお、中止に至る各種検討・調整や、新型コロナウイルス感染防止対策のため、業務量は減少していない。				令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは中止した。なお、中止に至る各種検討・調整や、新型コロナウイルス感染防止対策のため、業務量は減少していない。				令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは中止した。なお、中止に至る各種検討・調整や、新型コロナウイルス感染防止対策のため、業務量は減少していない。																																							

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	8,587	7,266	7,746		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	330	0	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人員費計	8,917	7,266	7,746		
	物件費計	270	117	0	21	—
	歳出計	9,187	7,383	7,746		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	9,187	7,383	0	21	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは中止した。なお、中止に至る各種検討・調整や、新型コロナウイルス感染防止対策のため、業務量は減少していない。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和3年度についても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは中止。見学については、新型コロナウイルス感染防止対策を実施した上で、市中の新型コロナウイルス感染状況を注視し、適切に実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	東部清掃工場施設維持管理業務													
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	施設管理室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性		内部事務			区分		一般内部管理事務			
事業期間	2008(H20)年度				年度	~				年度まで				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法													
関係補助金名称												サンセット	~	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		ごみを排出する市民及び事業者											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		施設機能が適切に維持・保全出来なくなった場合、ごみの円滑な処理が難しくなる。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	安定したごみ処理施設の運転													
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 焼却施設【焼却炉 120t/日×2炉・溶融炉 24t/日×2炉(交互運転)】および破碎処理施設【39t/5h】の各施設において、定期補修工事(年2回 前期・後期)の実施 各種機器・設備(燃焼設備・燃焼ガス冷却設備・排ガス処理設備・余熱利用設備・溶融設備・排水処理設備、破碎処理設備・選別設備・集じん設備、電気設備)等の保守点検及び清掃・警備業務の実施 													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
					東部清掃工場が適正に維持管理されている。				東部清掃工場の施設保全や保守点検等を行う。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明				修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				保守点検等の回数					
	指標種類				単位				単位					
					単位				%					
					単位				回					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)						100以内	100以内	100以内	100以内	4	4	4	4
実績						99.64				4				
達成度				100%				100%						
分析				令和2年度は、通常の定期補修工事(焼却2回、破碎2回)に加え、焼却施設ボイラー蒸気管更新工事(三次過熱器)を計画的に実施した。				令和2年度は、通常の定期補修工事(焼却2回、破碎2回)に加え、焼却施設ボイラー蒸気管更新工事(三次過熱器)を計画的に実施した。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.99
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	31,724	20,953	23,227		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人員費計	31,724	20,953	23,227		
	物件費計	978,489	792,881	968,762	981,592	99%
	歳出計	1,010,213	813,834	991,989		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	300,000	790,000	
	歳入計	0	0	300,000	790,000	
	一般財源	1,010,213	813,834	668,762	191,592	

5. 総括的分析

総括的分析	これまで東部清掃工場では、焼却・粗大ごみ処理各施設の定期補修工事及び日常の保守点検の実施により施設の性能維持を行なっている。令和2年度は、通常の定期補修工事(焼却2回、破碎2回)に加え、焼却施設ボイラー蒸気管更新工事(三次過熱器)を計画的に実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	適正に設備機器等の維持整備をすることで、設備機器や環境への負荷の低減に向けた運転を目指していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	東部清掃工場施設運営業務						
測定年度	2020(R2)年度		部	環境部		課	施設管理室
市長公約との関係	所信表明	市政運営方針	R2	R3	R4		
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち					
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち					
	実行計画名						
1. 事務事業の概要							
種類	内部管理	特性	内部事務		区分	一般内部管理事務	
事業期間	2008(H20)年度		年度	~		年度まで	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法						
関係補助金名称					サンセット		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	東部清掃工場のごみ処理により、環境に影響を受ける市民					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	処理するごみ質の変化や施設の劣化により、排ガス等の処理が不安定になることがある。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	不適切なごみの搬入防止や、施設の適切な管理で安定したごみ処理を行う。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・排ガス等の分析の実施 ・焼却炉120t/日×2炉、熔融炉24t/日×2炉(交互運転)により市域内の焼却ごみ(家庭系一般ごみ及び事業系一般廃棄物)約6割を適正に処理し、焼却残渣については、広域廃棄物埋立場(大阪湾フェニックス)へ搬出・処分を行う。 ・余熱利用として、発電能力4,500kWhの蒸気タービン発電機により発電を行い余剰電力は売却する。 ・粗大ごみ処理39t/日により市域内の粗大ごみを適正に処理し、処理工程で選別した金属類については、資源化を図る。また、処理工程で発生する不燃残渣については、広域廃棄物埋立場(大阪湾フェニックス)へ搬出・処分を行う。 ・熔融飛灰については、金属有価資源の有効利用に努める。 						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)	各分析結果が、自主基準を下回っている。				インプット(活動)	法令等に基づいて排ガス等の分析を実施する。			
	指標説明					アウトカム(活動効果)	自主及び法令基準値に対する超過件数				インプット(活動)	自主及び法令基準値の順守状況の確認回数			
指標設定	指標種類	単位				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					0	0	0	0	12	12	12	12		
	実績					0				12					
	達成度					100%				100%					
分析					分析結果についてはすべての項目において自主基準以下であった。				東部清掃工場各種分析委託により、年12回の下水排除水、年6回(有害物質年2回)の排ガスの分析を実施した。						
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)	受け入れた焼却ごみを適正に処理する。				インプット(活動)	市域内で発生する焼却ごみ(家庭系一般ごみ及び事業系一般廃棄物)を受け入れ、焼却する。			
指標設定②	指標説明					アウトカム(活動効果)	受け入れ焼却ごみを適正に処理できた割合【算出式:処理量/搬入量×100】				インプット(活動)	焼却処理量【算出式:(目標)「枚方市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(平成28年度~平成37年度)」での計画量×0.6】			
	指標種類	単位				単位 %				単位 トン					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					100	100	100	100	56,400	55,800	55,200	54,600		
	実績					102				60,496					
達成度					102%				107%						

	分析		処理量(60,496t)/搬入量(59,102t)	焼却量は搬入量に依存し、搬入量は、穂谷川清掃工場と調整し、最適化して決定している。
--	----	--	---------------------------	---

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					市域内の粗大ごみを適正に処理する。				市域内の粗大ごみを受入れ、破碎・選別する。			
指標設定③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				受け入れ粗大ごみを適正に処理できた割合 【算出式:処理量/搬入量×100】				粗大ごみ処理量【算出式:(目標)「枚方市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(平成28年度～平成37年度)」での計画量】×粗大ごみの割合			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	単位				%				トン			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)				100 100 100 100				7,219.40 7,142.87 7,067.15 6,992.24			
	実績				100				8,514			
達成度				100%				107%				
分析				増加した粗大ごみ搬入量全量、適正に処理しました。				粗大ごみ搬入量の増加は、コロナ禍の影響と思われる。				
ロジックモデル④	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					余剰電力について、売却し、収入を得ることができる。				余熱利用として、発電能力4,500kWhの蒸気タービン発電機により発電を行う。			
指標設定④	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				年間売電額				年間発電量			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	単位				円				kWh			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)				202,591,000 187,376,000 170,560,000 170,560,000				16,368,594 13,384,000 13,120,000 13,120,000			
	実績				191,648,783				13,796,448			
達成度				95%				84%				
分析				年間売電額は、電力会社による入札価格と年間販売量による。売却電力価格は下落傾向である。				焼却炉の損傷が最も少ないごみ焼却量に最適化して焼却を行っているため、発電量は少し少なくなっている。				
ロジックモデル⑤	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					不燃残渣が適正に処理できている。				各種焼却活動等により発生する、不燃残渣を回収できるよう、施設の維持管理に努める。			
指標設定⑤	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				不燃残渣の適正処理率 【算出式:処分量/不燃残さの排出量*100】				設備の不具合発生件数			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	単位				%				件			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)				ほぼ100 ほぼ100 ほぼ100 ほぼ100				0 0 0 0			
	実績				100				0			
達成度				100%				100%				
分析				処分量(1,134t)/排出量(1,134t)				処理に支障のある不具合の発生はなかった。				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル⑥						山元還元により、溶融飛灰の資源化を行う。				溶融設備を適正に管理して、焼却灰を溶融する。			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定 ⑥	指標説明					山元還元により、溶融飛灰の資源化ができた割合 【算出式: 山元還元量/溶融飛灰発生量*100】				溶融炉稼働日数			
		単位				単位 %				単位 日			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	—	180	180	180	—
	実績					100				185			
	達成度					100%				103%			
分析					山本還元量(545t)/溶融飛灰発生量(545t)				発生した焼却灰を適切に溶融処理できた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.16
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	26,874	24,173	23,284		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	26,874	24,173	23,284		
	物件費計	719,894	744,293	753,819	774,089	97%
	歳出計	746,768	768,466	777,103		
歳入	国庫支出金	321	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	25,202	23,252	191,966	202,591	
		歳入計	25,523	23,252	191,966	202,591
	一般財源	721,245	745,214	561,853	571,498	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>東部清掃工場は、平成20年12月に稼動したごみ焼却施設及び平成25年4月に稼動した破碎処理施設でごみ処理(主に家庭系、事業系の一般ごみ及び粗大ごみ)を行っている。ただし、工場の運転管理等業務については民間事業者へ委託している。</p> <p>平成24年7月に再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT制度)が施行され、本市にとって有利な料金単価が設定されたことにより、平成25年度より同制度へ移行することとし、平成27年度から売電契約は、競争入札にて業者選定を行っており、継続して適切なごみ処理を行っている。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	適正に設備機械等の維持整備をすることで、設備機械や環境への負荷の低減に向けた運転を目指していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	氷室地域都市基盤整備事業											
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	施設管理室	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业				区分	一般事務事業				
事業期間	1999(H11)年度				年度	~		年度まで					
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称								サンセット					
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		氷室地域の各自治会及び住民										
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題		氷室地域の里山保全、農業振興、道路交通対策など整備に関する様々な課題に対して、地域住民は行政の協力を必要としている。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	地域と行政が連携して課題に取り組み、整備が充実している状態。												
事業概要	氷室地域の各自治会の要望(支援要請)の窓口として地元並びに庁内関係課と協議調整を行うとともに、氷室地域の都市基盤整備の充実のため支援を行っている。												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	地域と行政が連携して課題に取り組み、整備が充実している。				各種要望や支援要請に対し、適切に対応する。				氷室地域の各自治会の要望(支援要請)を受け付ける。					
指標設定	指標説明		地元支援要請対応の引継率 【算出式: 担当部局への引継数 / 地元支援要請資料作成数 × 100】				現地調査資料を担当部局に引き継いだ件数				支援要請の把握・現地調査資料の作成件数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)		100 100 100 100				10 10 10 10				10 10 10 10			
	実績		100				34				34			
	達成度		100%				100%				100%			
分析		氷室地域の地元要望に対して窓口となり、地元と庁内関係課との協議調整等連携に努めた。				氷室地域の地元要望に対して窓口となり、地元と庁内関係課との協議調整等連携に努めた。				尊延寺25件、穂谷8件、三陽台1件				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	13,119	10,422	10,368		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人員費計	13,119	10,422	10,368		
	物件費計	0	0	0	0	—
歳出計		13,119	10,422	10,368		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		13,119	10,422	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	氷室地域において自然と人との共生を図るため、氷室地域等住み良い環境整備基金を設置してきたが、平成26年度公約施策である土砂防災に対する防災機能を備えた新たな地域活動拠点である尊延寺区新自治会館の建設に同基金を活用し支援したことにより同基金については平成28年度末で廃止となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	氷室地域の地元要望に対して、地元自治会及び市内関係課と協議を行いながら都市基盤整備の充実を目指す。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	東部清掃工場焼却施設長寿命化に係る整備事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	施設管理室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち											
	実行計画名		25-1.ごみ総量の削減と資源化の推進											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス				特性	選択的事业				区分	一般事務事業			
事業期間	2016(H28)年度				年度	~				年度まで				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律													
関係補助金名称												サンセット	~	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		ごみを排出する市民及び事業者											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		東部清掃工場が耐用年数を迎えた際に、新たに清掃工場を建設する必要があり、建設に当たっては多額の費用が発生する											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	既存の焼却施設の延命化を図る													
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・灰溶融炉の停止(廃止)工事 ・基幹的設備改良工事 ・延命化工事 													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	東部清掃工場が長期間使用可能になるとともに、環境負荷が軽減される。				第1期工事(灰溶融炉の停止(廃止)工事、基幹的設備改良工事)を進める。				第1期工事の実施に向けて国の承認等の手続きを進める。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	長寿命化総合計画に係る各年度の計画進捗率 【算出式:各年度の出来高/各年度の計画事業費×100】				第1期工事による整備の進捗率 【算出式:出来高/第1期工事の全体事業費×100】				第1期工事に係る申請等の件数					
	単位				単位				単位					
	%				%				件					
	指標種類				指標種類				指標種類					
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
目標(見込み)	100	100	100	100	—	100	100	—	2	—	—	—		
実績	100				100				2					
達成度	100%								100%					
分析	令和2年9月に大阪府と交付金申請について調整したところ、事業費が大きく5か年に亘る工事であることから、交付金の確保に向けて追加で基幹改良発注支援業務委託を発注し、事業内容の技術検証等を行った。				令和2年度については、第1期工事の積算等を行い、令和3年度の工事発注事務に備えた。				令和2年9月に大阪府と交付金申請について調整した。令和3年3月に交付金の確保に向けて調整を行った。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	7,434	7,047		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	7,434	7,047		
	物件費計	—	8,580	3,003	3,003	100%
	歳出計	—	16,014	10,050		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	228,800	228,800	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	228,800	228,800	
	一般財源	—	16,014	▲ 225,797	▲ 225,797	

5. 総括的分析

総括的分析 平成29年3月に策定した長寿命化計画の課題とした、【設備・機器の老朽化に対する対応】【過熱器の減肉に対する対応】【灰溶融炉の継続的使用に対する対応】について、精密機能検査の結果を基に計画を見直した。また、事業費が大きく5か年に亘る工事であることから、交付金の確保に向けて、令和2年度に基幹改良発注支援業務委託を行い、事業内容の技術検証等を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和3年度に「循環型社会形成推進交付金」の申請を行い、東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画に基づく第一期工事(基幹的設備改良事業)を令和3年度から5ヶ年の予定で実施します。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方京田辺環境施設組合負担金交付事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	施設管理室			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3			R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	非選択的的事业				区分	非選択的の事務事業				
事業期間	2016(H28)年度				年度	~			年度まで					
根拠法令等	枚方京田辺環境施設組合同規約													
関係補助金名称									サンセット					
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット	枚方市・京田辺市で設立した枚方京田辺環境施設組合												
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題	可燃ごみ広域処理施設の整備を円滑に推進する必要がある。												
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	可燃ごみ広域処理施設が稼働している。													
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している穂谷川清掃工場第3プラントと京田辺市甘南備園焼却施設の後継施設について、枚方市と京田辺市が枚方京田辺環境施設組合を設立し、同組合による可燃ごみ広域処理施設の整備を行う。 ・枚方京田辺環境施設組合の適正な運営と施設の整備を行うため、枚方京田辺環境施設組合同規約に基づく応分の負担金を交付している。 													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
					負担金の交付により、可燃ごみ広域処理施設の整備が進められている。				枚方京田辺環境施設組合の適正な運営と施設の整備を行うため、応分の負担金を交付する。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明				整備事業の進捗率				負担金の交付回数					
	単位				単位				単位					
	%				%				回					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
目標(見込み)					44	56	67	78	4	4	4	4		
実績					44				4					
達成度					100%				100%					
分析					枚方京田辺環境施設組合により、環境影響評価の手続きが進められた。 4月 準備書を京都府へ提出 5月 準備書の縦覧、意見募集、住民説明 12月 準備書に対する意見書を受領 1月 評価書を京都府へ提出 3月 評価書の広告 評価書の縦覧(3月5日から4月5日)				令和2年度の枚方市交付額合計は、92,636,000円					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	5,399	1,822	0		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人員費計	5,399	1,822	0		
	物件費計	104,589	82,660	81,435	86,189	94%
	歳出計	109,988	84,482	81,435		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	19,500	12,600	6,000	10,000	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	19,500	12,600	6,000	10,000	
	一般財源	90,488	71,882	75,435	76,189	

5. 総括的分析

総括的分析	京田辺市及び枚方京田辺環境施設組合と連携し、可燃ごみ広域処理施設の整備を進める。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	京田辺市及び枚方京田辺環境施設組合と連携し、可燃ごみ広域処理施設の整備を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														し尿収集業務																	
測定年度				2020(R2)年度				部		環境部				課		施設管理室															
市長公約との関係				所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系				基本目標				5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち																							
				施策目標				26.安全で良好な生活環境が確保されたまち																							
				実行計画名																											
1. 事務事業の概要																															
種類				市民サービス				特性				選択的事業				区分				一般事務事業											
事業期間				不明				年度		~				年度まで																	
根拠法令等				廃棄物の処理及び清掃に関する法律、地方自治法、同法施行令、同法施行規則、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例及び同施行規則																											
関係補助金名称								サンセット																							
関係附属機関名称																															
事業対象				メインターゲット				一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者																							
				サブターゲット				一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者の近隣に在住する市民・事業者																							
				ターゲットが抱える課題				一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごせるよう収集・運搬業務を迅速かつ的確に行う必要がある。																							
				ターゲットが抱える課題																											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)				一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごす。																											
事業概要				定期収集は、おおむね21日を周期として行い、臨時汲み取りは、電話受付後、随時収集を実施している。																											
2. ロジックモデル及び指標設定																															
ロジックモデル				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																			
				一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごす。				収集したし尿を適切に運搬する。				対象世帯に対し、し尿収集を実施する。																			
指標設定				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																			
				指標説明				し尿収集の要望に対する執行率【収集量/収集要望量×100】				年間収集量				し尿収集対象世帯数															
								単位		%		単位		kl		単位		件													
				指標種類				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標															
				指標数値				R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5									
				目標(見込み)				100		100		100		100		1,650		1,530		1,430		1,340		620		580		540		500	
				実績				100								1,556								618							
達成度				100%				106%				100%																			
分析				全てのし尿収集の要望に対して執行できた。				ほぼ想定通りであった。				想定通りであった。																			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	8.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	93,909	69,673	63,898		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	412	459		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人員費計	93,909	70,085	64,357		
	物件費計	2,898	2,123	1,659	1,992	83%
	歳出計	96,807	72,208	66,016		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	10,180	2,931	0	0	
	歳入計	10,180	2,931	0	0	
	一般財源	86,627	69,277	1,659	1,992	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>収集業務は、21日周期を原則に普通・大口・臨時の区分により、定期収集車2台で汲み取りを行った。公共下水道地区整備に伴い、汲み取り件数は年々減少しているため、収集車の受け持ち地区の変更や整理を随時行った。</p> <p>し尿収集状況については、普通汲取件数9,524件、汲取量1,292.17kl、大口汲取件数646件、汲取量183.80kl、臨時汲取件数418件、汲取量80.90klで 合計汲取量は1,556.87klであった。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	21日周期を原則に普通・大口・臨時の区分により、定期収集車2台で汲み取りを行う。また、公共下水道整備の進捗と点在する収集世帯の状況を踏まえ、収集車両台数、収集員の適正配置及び収集経路の見直しを図りながら引き続き、効率的な収集を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													し尿処理業務												
測定年度		2020(R2)年度			部		環境部			課		施設管理室													
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4															
総合計画体系		基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち																					
		施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち																					
		実行計画名																							
1. 事務事業の概要																									
種類		市民サービス			特性		選択的事業			区分		一般事務事業													
事業期間		不明			年度		~				年度まで														
根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法																							
関係補助金名称		サンセット																							
関係附属機関名称																									
事業対象		メインターゲット		「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」																					
		サブターゲット		汲み取り便所、浄化槽及びディスポーザを設置しており利用している者																					
		ターゲットが抱える課題		し尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入できるようにする必要がある。																					
		ターゲットが抱える課題		し尿・浄化槽汚泥等について、法令に適合した処理を適切に行い、生活排水の改善が図られるようにする必要がある。																					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」が、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、そして、し尿・浄化槽汚泥等について、法令に適合した処理を適切に行い、生活排水の改善が図られている状態。																							
事業概要		<p>市域から収集したし尿及び浄化槽汚泥等を、本施設で適正に処理し、放流基準を遵守できるよう、適切な維持・管理を行っている。</p> <p>希釈放流方式</p> <p>計画処理量 約60kl/日 放流量 1,140?/日</p>																							
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
		し尿・浄化槽汚泥等について、法令に適合した処理を適切に行い、生活排水の改善が図られている。				希釈放流方式により、搬入されたし尿・浄化槽汚泥等を適切に処理する。				搬入されたし尿・浄化槽汚泥等に対し、希釈放流方式にて処理する。															
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
		指標説明				指標説明				指標説明															
		し尿及び浄化槽汚泥等に対する処理完了率【処理量/搬入量×100】				年間放流量				年間搬入量															
		指標種類				指標種類				指標種類															
		増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標															
		単位 %				単位 ?				単位 kl															
指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5									
目標(見込み)		100		100		100		100		282,568		221,464		207,024		193,876		14,872		11,656		10,896		10,204	
実績		100								286,534								13,424							
達成度		100%				99%				110%															
分析		全ての搬入に対し処理を行った。				想定通りであった。				ほぼ想定通りであった。															

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	7.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。

4. 決算額

(千円)

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	35,741	28,303	44,718		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	459		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	35,741	28,303	45,177		
	物件費計	174,566	159,463	155,682	174,550	89%
	歳出計	210,307	187,766	200,859		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	6,887	0	0	
		歳入計	0	6,887	0	0
	一般財源	210,307	180,879	155,682	174,550	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>希釈放流方式により、搬入されたし尿・浄化槽汚泥等を適切に処理した。 希釈放流センター受入状況については、受入日数249日で、家庭系尿受入量1,556.87kl、事業系し尿受入量863.29kl、浄化槽汚泥受入量10,980.58kl、ディスポーザ汚泥受入量24.13klであった。また、希釈水量266,046.00?、放流量286,524.00?であり、希釈放流水質については、放流基準を遵守した。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市域から収集したし尿及び浄化槽汚泥等を、本施設で適正に処理し、放流基準を遵守できるよう、適切な維持・管理を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	淀川衛生事業所施設維持管理事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	施設管理室			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標			5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標			26.安全で良好な生活環境が確保されたまち										
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務							
事業期間	不明			年度	～年度まで							
根拠法令等	建築物衛生法、労働安全衛生法、水道法											
関係補助金名称	サンセット											～
関係附属機関名称												

事業対象	メインターゲット	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」										
	サブターゲット	汲み取り便所、浄化槽及びディスプレイを設置しており利用している者										
	ターゲットが抱える課題	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」が、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、し尿・浄化槽汚泥等を法令に適合した処理を適切に行い、施設の維持管理を実施する必要がある。										
	ターゲットが抱える課題											

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」が、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、し尿・浄化槽汚泥等を法令に適合した処理を適切に行えて、施設の維持管理ができている状態。											
---------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の概要 希釈放流センター（所在地:出口2丁目30番1号・開設年月日:平成5年9月30日・敷地面積:33,175.77㎡ 延床面積:5,498.94㎡・建物構造:鉄筋コンクリート造2階建外） 緩衝緑地帯（敷地面積:744.37㎡） ○委託業務（清掃委託・受水槽・警備委託・害虫駆除委託・空気環境測定委託・淀川衛生事業所除草樹木剪定等委託） ○事業内容 警備委託（機械警備）による休日・夜間の管理。 清掃委託等による建物の維持管理及び淀川衛生事業所除草樹木剪定等委託による施設内の美観の維持。 											
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	淀川衛生事業所が適正に維持管理されている。				インプット (活動)	淀川衛生事業所の施設保全や保守点検等を行う。			
	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				インプット (活動)	契約種別数			
指標設定	指標説明	単位				単位	%				単位	件			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	6	6	6	6		
	実績					60				6					
達成度					140%				100%						
分析					予算内で適切に執行できた。				想定通りであった。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」のPersonnel費については、人員配置をもとに平均Personnel費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「Personnel費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員Personnel費」「臨時職員Personnel費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度はPersonnel費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	31,221	21,706	14,648		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	31,221	21,706	14,648		
	物件費計	12,912	6,402	6,262	10,382	60%
	歳出計	44,133	28,108	20,910		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	44,133	28,108	6,262	10,382	

5. 総括的分析

総括的分析	決算額については、除草樹木剪定等委託料 792,000円、清掃委託料 2,508,000円、貯水槽清掃等委託料 77,000円、警備委託料 2,376,000円、害虫駆除委託料 29,480円、空気環境測定委託料 91,300円、消耗品費 374,222円、手数料 0円、使用料(NHK受信料) 14,371円、安全管理者講習負担金 0円となっており、適切に施設の維持管理を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入できるよう、施設の維持管理を適切に行っていく。また、空気環境測定、害虫駆除、貯水槽清掃委託については、仕様を見直し、3つの業務をまとめた複数年契約とし、経費削減を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公衆便所管理事務										
測定年度	2020(R2)年度			部	環境部			課	施設管理室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2010(H22)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方市公衆便所条例				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	公衆便所を利用する者
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	公衆便所を利用する者が、快適に利用できるような必要な維持管理を実施する必要がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公衆便所を利用する者が、快適に利用できている状態。
---------------------------	---------------------------

事業概要	<p>公衆便所の維持・管理のため、毎日の施設・設備の清掃、ゴミやクモの巣などの除去、消耗品の補充、軽微な故障修理等については、清掃業務委託により実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 西口公衆便所(枚方市桜町2番23号) 開設 昭和28年3月、敷地面積 23.14㎡、延床面積 16.00㎡、建物構造 鉄筋コンクリート (男子 洋式 1、小便器 1) (女子 洋式 1) 枚方公園駅前公衆便所(枚方市伊加賀北町5番11号) 開設 昭和34年7月、敷地面積 51.06㎡、延床面積 20.80㎡、建物構造 鉄筋コンクリート (男子 和式 1、小便器 2) (女子 和式 2) (身障者用 和式 1)
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		公衆便所が適切に維持管理されている。				公衆便所の施設・設備の清掃等、各種施設保全、保守点検等を行う。							
指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標種類	単位				単位 %				単位 回			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	365	365	365	366
	実績					74				365			
	達成度					126%				100%			
分析						予算内で適切に執行できた。				予定通りであった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	288	292	1,196		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	288	292	1,196		
	物件費計	1,540	1,804	1,610	2,161	75%
	歳出計	1,828	2,096	2,806		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	1,828	2,096	1,610	2,161	

5. 総括的分析

総括的分析	決算額について、公衆便所清掃委託料 1,452,000円、光熱水費 157,730円、修繕料 0円、原材料費 0円、消耗品費 0円であった。清掃業務委託で対応できない修繕等については、職員での対応を行い適切な維持管理を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	公衆便所の維持・管理のため、毎日の施設・設備の清掃、ゴミやクモの巣などの除去、消耗品の補充、軽微な故障修理等については、清掃業務委託により実施する。また、複数年契約に仕様を見直し経費削減を目指す。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	施設管理室運営事務														
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	施設管理室				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4							
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外												
	施策目標		99.施策体系外												
	実行計画名														
1. 事務事業の概要															
種類	内部管理			特性	庶務的事務				区分	庶務的内部管理事務					
事業期間	R3年度(2021年度)				年度	~			年度まで						
根拠法令等	決裁														
関係補助金名称											サンセット	~			
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット		施設管理室職員												
	サブターゲット														
	ターゲットが抱える課題		室の運営を円滑に図る必要がある。												
	ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	室の運営が円滑に行われている														
事業概要	室の運営業務														
2. ロジックモデル及び指標設定															
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
指標設定	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			単位		単位		単位		単位						
	指標種類														
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績													
	達成度														
	分析														

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	9.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。

4. 決算額

(千円)

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	65,429	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	—	65,429	
	物件費計	—	—	9,846	10,777	91%
	歳出計	—	—	75,275		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	5	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	30	30	
	歳入計	—	—	30	35	
	一般財源	—	—	9,816	10,742	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度の機構改革により、穂谷川清掃工場、東部清掃工場、淀川衛生事業所の各運営業務を一本化した。統合による効率化を目指す。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	令和3年度の機構改革により、穂谷川清掃工場、東部清掃工場、淀川衛生事業所の各運営業務を一本化した。統合による効率化を目指す。